

府中の森芸術劇場 ウィーンホール(京王線 東府中北口下車7分)
入場料:1,000円(全席自由)

特別出演(ドイツからのお客様)

=Projektchor Japan=

Deutscher frauendorch(ドイツ女声合唱団)

指揮: Bernhöft Kimiko ピアノ: 大杉 祥子

Coronach 挽歌 Scott詩 Schubert 曲

Der Gärtner 庭師 Eichendorff詩 Brahms 曲 他

経堂フラウエンコール 指揮: 枝松登志子 ピアノ: 森 昭子

アヴェ・マリア特集

Ave Maria 河西 保郎 他 編

混声合唱団 AMC 指揮: 川村 敬一 ピアノ: 大杉 祥子

混声合唱組曲

「海鳥の歌」

更科 源藏詩 廣瀬 量平曲

コーラス・エレガンテ 指揮: 川村 敬一 ピアノ: 大杉 祥子

女声合唱組曲

「今日もひとつ」

星野 富弘詩 なかにしあかね曲

桜ヶ丘コーラス 指揮: 山縣 恵子 ピアノ: 大杉 祥子

女声合唱組曲

「春のマドリガル」より

薩摩 忠 詩 服部 公一曲

府中女声合唱団 指揮: 川村 敬一 ピアノ: 大杉 祥子

「ウィーン歌のたび」

「ウィーン我が夢のまち」

あらかはひろし詩 Sieczyński 曲 他

ますこコーラス 指揮: 山岸 智秋 ピアノ: 峯崎 道子

女声合唱とピアノのための

「南海譜」より

新実 德英 作編曲

主催: (株)ケイ企画

後援: 公益財団法人府中文化振興財団・東京シティオペラ協会・KEI音楽学院

お問い合わせ: ケイ企画 0120-936-649 Mail:kikaku@keimp.co.jp

2016
10/12(水)

15:00 開場 15:30 開演

秋のコラス・ファンタジー

ドイツからのお客様を迎えて





PROJEKTCHOR JAPAN

DEUTSCHER FRAUENCHOR

Deutscher Frauen Chor (ドイツ女声合唱団)

ベルンヘフト公子(きみこ)女史により、1994年にケルン隣接の町ヒュルトに創設される。現在合唱団は、40歳から80歳までの総勢47名で構成されている。合唱団の産みの親であり指導者のベルンヘフト公子女史の疲れを知らぬ指導のもと、曲の表現方法や音の響かせ方、合唱のダイナミックなど、たゆまぬ努力を続け、調和の取れた声量を持つ合唱団に育っている。レパートリーは、ブラームス、シューマン、メンデルスゾーン、モーツアルトなどの曲のみならず現代曲・オペラやミュージカル、宗教曲など広い範囲にわたっている。2006年NRW(ノースラインウエストフェリア州)合唱団連盟の合唱団マイスターの称号を取得。さらに2012年そのタイトルを更新した。1998年フランスの姉妹都市アルジュレスシュルメール、2005年オランダの姉妹都市スパイケニッセ、2007年はポーランドのビエルスコ=比亚ワを訪問し、合唱祭に参加した。ポーランドでのもう一つのハイライトは、ヨハネスバウロ2世の出身地ヴァドヴィツェで、彼を偲ぶ記念ミサで聖歌を歌ったことである。2013年にはローマに演奏旅行し、ペータースドームのジョゼイツへ祭壇で数々の宗教曲を歌った。そのミサの聖餐式の間に歌ったD.ボルトニヤンスキの *Ich bete an die Macht der Liebe*(愛の力を祈る)は、多くの聴衆の感動を誘った。またケルンの有名なロマネスク様式の聖アポステル教会のミサにも参加した。独自のコンサートを毎年開催。今回の日本の合唱団との合同コンサートを団員たちは大変楽しみにしている。



Kimiko Bernhöft ベルンホフト公子

1962年ドイツ学術交流会(DAAD)の交換留学生として、ケルン国立音楽大学マイスタークラスピアノ科に入学。その後Liedbegleitung(歌曲伴奏法)科にて、歌曲におけるピアノ演奏法を学ぶ。1966年よりドイツ青少年音楽学校にて、ピアノ科主任教師として青少年の音楽教育に尽くす。1991年合唱活動を開始。1994年にHürth Frauenchor[ヒュルツ女声合唱団]を創立する。2006年にマイスター合唱団の称号を取得。その間南仏及びオランダに文化使節として招かれ、両国にて演奏会を主催。他ポーランドでの3日間にわたる全欧州合唱フェスティバルに招待される。2013年バチカン市国ペータースドームにて演奏。今までベルリン、ヴュルツブルク、バンベルク、フライブルク等ドイツ各地において演奏活動を続けている。

